

リハビリスタツフら 住宅構造の基本学ぶ

作業療法士が企画

住宅のバリアフリー化などに必要な知識を学ぶ研修会「住宅解剖論」が10日、甲斐市西八幡の「介護センター花岡 甲府店」で開かれた。写真。

要介護者や障害者が暮らす

世帯に住宅改修をアドバイスするリハビリスタツフらが対象。住宅構造の基本を理解してもらおうと、作業療法士で2級建築士の久保田好正さん（甲府市）が企画し、約15人が参加した。

福祉住環境コーディネーター1級の資格を持つ伊東工務店（甲府市）専務の伊東誠三さんと、久保田さんが講師を務めた。バリアフリー化工事の実践例を紹介し、「生活する人の視覚、触覚などの五感に配慮することが必要」（伊東さん）と説明した。

このほか、正しい工具の使い方や手すりの設置方法を学ぶ実技指導も行った。

